

立命館大学低炭素戦略研究会

カーボンニュートラルに向かうスウェーデンと日本
～ 事例対照から見える日本の盲点

オンライン

立命館アジア・日本研究機構アジア・日本研究推進プロジェクト「東アジアのグリーンリカバリーと炭素中立の実現」(代表:周 瑋生)が主催する第59回立命館低炭素戦略研究会は、高橋若菜先生よりご講演いただきますので、お誘いあわせの上、奮ってご参加くださいますようよろしくお願い申し上げます。

日時

2023年2月16日(木) 16:30～18:00

講師

高橋若菜 氏 宇都宮大学国際学部教授
多文化公共圏センター長

プロフィール

兵庫県神戸市出身。博士(政治学)。イギリスサセックス大学(環境学等)や神戸大学大学院(博士:政治学)で修学したのち、地球環境戦略研究機関研究員を経て、2003年に宇都宮大学に赴任。越境大気汚染管理、気候変動政策や循環型社会をめぐる地球環境政治/比較環境政治を専門とし、2011年以降は原発事故被害者の支援や調査研究に従事し、福島原発震災に関する研究フォーラム共同世話役。主要業績として、高橋若菜『越境大気汚染の比較政治学—欧州、北米、東アジア』(千倉書房、2017年)、高橋若菜編『奪われたくらし—原発被害の検証と共感共苦(コンパッション)』(日本経済評論社、2022年)他。

コメンテーター

周 瑋生 立命館大学政策科学部教授



【主催】立命館大学低炭素戦略研究会、立命館アジア・日本研究機構アジア・日本研究推進プログラム
「東アジアのグリーンリカバリーと炭素中立の実現」研究プロジェクト

【共催】立命館大学政策科学研究科リサーチプロジェクト「グローバルガバナンスとサステナブルな環境戦略」

【参加申込フォーム】 <https://forms.gle/FFJTBELAc6Zaffu97>

【Zoomによるオンライン講演】 <https://ritsumeiaac-jp.zoom.us/j/6609351396>